

# ゼミ論文（グループワーク）構想報告について

法政大学法学部 福田ゼミ

## 1. ゼミ論文構想報告について

ゼミ論文構想報告は、①研究の目的が妥当なものであるか、②研究の目的に対する研究の手法、論文の章立てが適当であるか、③その結果どのような結論が見込まれるのか、というようなことを議論する場です。ですから、皆さんは議論の「たたき台」となるような配布資料を用意して、ゼミで報告する必要があります。

構想報告では、以下①～④の内容を記載し、A4で2枚から4枚にまとめてください。一度に複数の人が報告しますので、それをできるだけA3かB4の裏表1枚にまとめ、自分でゼミの人数分印刷してください。

- ①タイトル（サブタイトル）：絞り込まれた問題関心と研究の特徴を端的に提示してください。
- ②はじめに：研究の目的、その背景となる事柄、研究の手法・手順、研究の特徴（独自性）と予想される結論などを文章化してください（箇条書きではダメです）。
- ③章立て：論文の中身となる項目を、できるだけ詳しく書いてください。
- ④参考文献リスト：「はじめに」で示したような問題を明らかにするために、十分な資料を用意できることを示すために、参考文献のリストを提示してください。

## 2. 論文構想報告までの手順

### ①問題の発見

何について知り、論じたいのか大まかなテーマを決める。

### ②資料集め

文献（資料）リストの作成→資料収集→リストの編集→さらに資料収集、これを何度も繰り返す。ただ資料を集めるだけでなく、既存の資料では何が論点になっており、どういう資料が多いのか（少ないのか）を大まかに把握する。

### ③情報の整理と内容の絞込み

②の作業を続けながら、自分にとって興味深い内容をピックアップし続ける。できればノートやカードに記録する。それをもとに、論文のテーマとする内容を絞り込む。

### ④論文全体の見通しと研究対象の決定

初めから終わりまで論文を書けるかよく検討する。レジュメなどにまとめてみるのもよい。

### ⑤「はじめに」と章立ての作成

④で検討したことを、分かりやすく文章にし、項目を立てる。

### ⑥報告資料の完成と仕上げ

文章、誤字脱字のチェックと、報告の練習を行う。

## 3. 論文構想報告当日

- ★ 報告では、レジュメの内容を読み上げるだけではなく、【章立て】の部分の説明では、それぞれがどのような章になり、各章がどのような関係にあるのかを補足説明してください。もちろん、補足説明のために必要な資料（表やグラフを含む）をレジュメとして配布してもかまいません。
- ★ 各報告に対してコメンテータを決めて、コメントをしてもらいます。そのほかの方にも積極的に質問や意見を出して欲しいと思っています。

### 3. 報告資料の例

#### 2012年台湾総統選挙と中台関係の行方

##### —平和協定は結ばれるのか—

法政大学法学部 福田円

←①テーマ

(主題・副題)

学籍番号と氏名

#### はじめに

本論文は、台湾総統選挙をめぐる台湾、中国、東アジア国際社会における議論の分析を通して、台湾海峡における平和協定締結の可能性について考察する。

←②研究する内容を明確に書く

2012年1月、台湾では4年に一度の総統選挙が行われる。選挙における最大の争点は中国との関係をどうするのかという問題である。現職の馬英九総統(国民党)は、中国との経済交流拡大を継続し、中国との間で平和協定を締結する可能性も示唆している。これに挑戦する蔡英文候補(民進党)は、政治的な交渉には極めて慎重である。

←③その背景と  
なっている事項  
を整理する

中国は総統選挙の結果を警戒している。なぜならば、蔡英文候補は、中台経済交流の前提であると主張してきた「一つの中国」に否定的だからである。中国は、「一つの中国」が否定される場合、経済交流は中断し、台湾との関係は緊張すると主張している。そのため、台湾総統選挙の行方は、日本をはじめとする周辺諸国にも無関係ではない。

←話題が変わるときは段落を改める

上記のような問題関心のもと、本論文では台湾総統選挙の結果、中台関係がどのように変わるのか、変わらないのかを考察する。まず、総統選挙をめぐる台湾内部での議論を整理し、それに対して中国の指導者がどのような反応を示しているのかを整理する。次に、今回の選挙の争点である平和協定をめぐる議論を整理し、平和協定の可能性を周辺諸国はどのように捉えているのかを分析する。最後に、馬英九が当選する場合と、蔡英文が当選する場合に分けて、中台関係と平和協定の見通しをまとめる。

←④自分が新たに論じること、その手順を示す

#### 章立て

1. 台湾総統選挙における対中政策をめぐる議論
  - 1-1. 馬英九・国民党の主張
  - 1-2. 蔡英文・民進党の主張
  - 1-3. 中国の反応
2. 平和協定をめぐる議論
  - 2-1. 中台間の議論
  - 2-2. 周辺諸国の反応
3. 中台関係と平和協定の見通し
  - 3-1. 馬英九当選の場合
  - 3-2. 蔡英文当選の場合

←実際に調べる項目を書く

←上記④の部分が反映されるような項目にする

#### 参考文献

岡田充「総統選に危機感募らせる北京」(21世紀中国総研 HP、2011年11月30日アクセス、[http://www.21ccs.jp/ryougan\\_okada/ryougan\\_27.html](http://www.21ccs.jp/ryougan_okada/ryougan_27.html))

←参考文献リストの書き方は、別紙を参照

松本充豊「民進党の「十年政綱」発表と米国の対台湾武器売却問題」『交流』2011年10月号、43～54頁

若林正文『台湾の政治』(東京大学出版会、2009年)